

法政大学大原社会問題研究所

所 報

(2019.4.1 ~ 4.30)

□研究員人事 (4月1日付・新任)

兼任研究員 (運営委員)

長原 豊 (経済学部教授)

堅田香緒里 (社会学部准教授)

兼任研究員 伊東 久智

□刊行物

『大原社会問題研究所雑誌』727号 (2019年5月)

□図書受入

	和 書	洋 書	計
購 入	5	2	7
受 贈	15	186	201
合 計	20	188	208

□閲覧サービス

閲覧

開館日数 19日

閲覧者数 16名

貸出図書 9冊

コピーサービス

学外 10件 316枚

学内 0件 0枚

日 誌

3日 所員会議

事務会議

『日本労働年鑑』編集会議

9日 資料受贈 (資料の内容: 山岸章氏の記録, 寄贈者: 佐藤兵實氏, 資料の量: 段ボール (小) 1箱)

10日 閉館 (大学創立記念日)

13日 月例研究会 (於: 市ヶ谷キャンパスBT)

米山忠寛 (客員研究員) 「史学史における日本政治史——分化の検討と現在の課題」

16日 見学: 原伸子 (経済学部教授) ゼミ (30名)

17日 運営委員会

議題① 2019年度の活動計画 (案)

② 運営委員会の時間調整

③ 雑誌編集委員会委員の決定

④ 客員研究員の承認

⑤ 嘱託研究員の承認

⑥ 2019年度研究会, プロジェクトの締め切り日について

⑦ その他

『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会

『日本労働年鑑』編集会議

創立100周年記念展示第5回「貴重書庫展: 1 稀観書」(~5月24日)

資料受贈 (資料の内容: 「[協定会調査部] 社会政策研究会記録」, 寄贈者: 山本和重氏, 資料の量: 1点)

18日 大原社会政策研究会 (第57回)

浜野佑貴 (一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程) 「地域社会における子ども食堂の受容——X市団体運営者へのインタビュー調査から」

22日 HOSEI ミュージアム開設準備委員会 (榎)

27日 閉館 (~5月6日)

大原社会問題研究所雑誌

No.730 (2019年8月号)

2019年8月1日発行

定価 (本体926円+税), 年間購読12,000円 (税込)

編集 (兼) 発行人 法政大学大原社会問題研究所

編集長 藤原千沙

所長 鈴木 玲

〒194-0298 東京都町田市相原町4342

電話 042 (783) 2305

投稿募集

『大原社会問題研究所雑誌』は、社会・労働問題に関する「論文」「資料紹介」「調査報告」を募集しております。下記の投稿規程と執筆要領に基づいてご投稿ください。規程と要領に沿わない原稿は受理できません。

[2018.10.1 改定]

投稿規程

1. 投稿原稿はワープロ・パソコン作成による未発表のものに限ります。
2. 投稿原稿の分量は、原則 20,000字以内（図表・スペースを含む）です。
3. 投稿原稿は、審査用原稿となりますので、本文や注などで執筆者が特定される記述をしないでください。1ページ目は、原稿の題目に続けて本文に入り、著者名は記載しないでください。
4. 原稿の採否は、本誌編集委員会が指定する審査員の査読を経て、本誌編集委員会が決定します。「論文」は審査の結果、「研究ノート」となることがあります。
5. 掲載原稿には、掲載誌 2 冊と抜刷 30 部をさしあげます。
6. 投稿者は、①投稿原稿（審査用原稿）3 部、②1,000 字程度の要旨 3 部、③表題紙 3 部を送付してください。表題紙に記載する事項は、投稿原稿の①題名、②目次、③分量（図表を除く文字カウント数（スペースを含める）、図表の数）、④著者の氏名（よみがなを併記）、⑤肩書き（所属・職名、大学の場合は学部等まで）、⑥略歴、⑦連絡先（郵便番号、住所、電話番号、電子メールアドレス）です。

【送付先】〒194-0298 東京都町田市相原町 4342 法政大学大原社会問題研究所
『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会

投稿原稿 執筆要領

1. A 4 判の横書き、40 字×40 行、下部にページ数を付し、白黒・片面で印刷する。
2. 原則として、数字は算用数字、句読点は「、」と「。」を用いる。
3. 本文の各節には「.」のない 1 2 …を用いる。
4. ワードプロソフトによる脚注の挿入機能は使用してよい。
5. 図表は、白黒印刷できるものを提出する。本文には余白に【表 1】等と挿入場所を指定し、図表そのものは別紙に一括し、通し番号をつける。図表の文字換算数は定めないが、審査にあたっては、図表の大きさで全体の分量を概算する。
6. 参考文献は、著者名・発行年・論文名・雑誌名（書籍名）・巻号（出版社）・雑誌の場合は頁数を記述し、著者名（姓）のアルファベット順または五十音順に記載する。ただし他の記載方法も可とする。

【記載例】

榎一江 (2017) 「近代日本のバターナリズムと福利施設」『大原社会問題研究所雑誌』705 号, 29-43 頁。

原伸子 (2015) 「イギリスにおける福祉改革と子どもの貧困——「第三の道」と社会的投資アプローチ」原伸子・岩田美香・宮島喬編『現代社会と子どもの貧困——福祉・労働の視点から』大月書店。

Suzuki, Akira (2016) “Japanese Labour Unions and Nuclear Energy: A Historical Analysis of Their Ideologies and Worldviews,” *Journal of Contemporary Asia*, Vol.46, No.4, 591-613.

法政大学大原社会問題研究所叢書

日本社会党・総評の軌跡と内実

20人のオーラルヒストリー



独自の聴き取りプロジェクトを書籍化！
年表、結党綱領や村山談話等の資料付

◎編者紹介
五十嵐仁 (法政大学名誉教授)
木下真志 (法政大学大原社会問題研究所嘱託研究員)
法政大学大原社会問題研究所

◎証言者(掲載順)
【日本社会党】加藤宣幸/伊藤茂/初岡昌一郎
曾我祐次/仲井富/高見圭司/上野建一
横山泰治/細川正/船橋成幸/海野明昇/前田哲男
園田原三/浜谷惇/橋村良夫【総評】谷正水
塚田義彦/梁田政方/公文昭夫/富塚三夫

【体裁】A5判■上製■680頁
定価：本体6300円＋税
ISBN 978-4-8451-1588-4・C0036

各証言者に共通するのは、信ずるところ
に向かう闘志や情熱である。
社会党・総評が影響力を持ち、輝いてい
た時代を支えていた方々、あるいは社会党
の再建に尽力された方々からの証言は、今
後の戦後日本政治史研究に少なからぬ影響
を与えるにちがいない。

戦争による荒廃から立ち上がり、
「民主日本」を夢見て力を尽くした人々の
消し去ることのできない足跡

◎ (株)旬報社 東京都新宿区早稲田鶴巻町544 中川ビル4F
旬報社 TEL. 03-5579-8974 FAX. 03-5579-8975

基地社会・沖縄と「鳥ぐるみ」の運動

— B52撤去運動から県益擁護運動へ —

秋山道宏著



A5判/224頁/本体2,800円
ISBN 978-4-86014-091-5

私はたしかに政党人で、
しかも保守系だが、
なにもロボットではない。
村民に背は向けられないよ。
B52をどけるために効果があれば、
村民大会もやるし、ほかの集会にでも参加する」
(嘉手納村長(1968年当時)古謝得善)

日本復帰前、沖縄の「鳥ぐるみ」の運動に託された
「想い」と現実と迫る。

山川究夫/瀬戸真之編著

福島復興学

被災地再生と被災者生活再建に向けて

三五〇〇円

川崎興太編著

環境復興

東日本大震災・福島原発事故の被災地から

二五〇〇円

福島大学国際災害復興学研究チーム編著

東日本大震災からの復旧・復興と国際比較

二八〇〇円

第26回(2018年) 森嘉兵衛賞受賞

大平佳男著

日本の再生可能エネルギー政策の経済分析

三〇〇〇円

福島の復興に向けて

21世紀の若者たちへ

五十嵐仁著

現代日本政治

「知力革命」の時代

一八〇〇円

表示価格は消費税が含まれておりません

刊行書の一覧は版元ドットコムへ
<https://www.hanmoto.com/bd/hassaku-sha>

八朔社

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-7-7 白揚第2ビル
TEL 03-5244-5289 / FAX 03-5244-5298
<http://hassaku-sha.la.coccan.jp/>